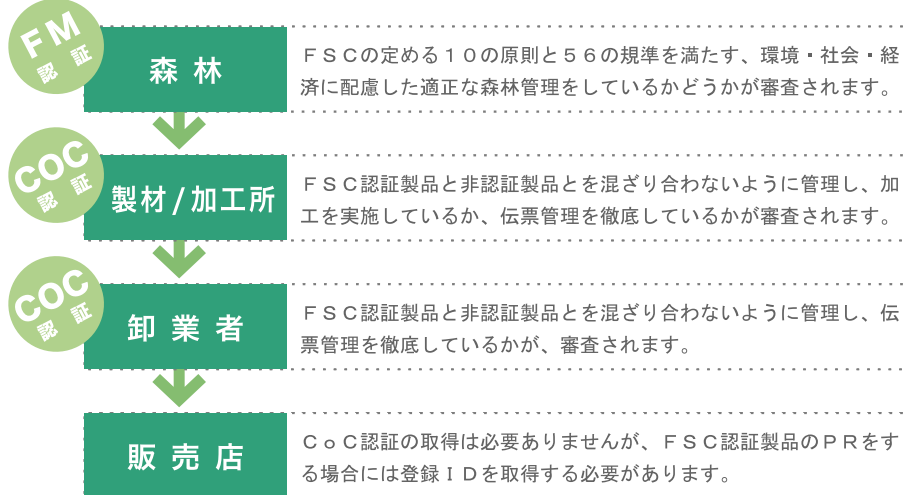


FSCマークを付けるためには

認証のサプライチェーン（資材の調達→生産→販売→物流→消費者までつながる供給の連鎖）をきちんとつなげないと、認証製品は生まれません。



FSCの認証（FM認証・COC認証）は、認証機関による審査を受けて取得してから5年間有効です。ただし、その間、年一回の年次審査があります。

ひとつの会社が

認証をとるだけじゃ
だめなんだね



国内の認証機関窓口

アマタ株 本社営業部 認証課
〒102-0075 東京都千代田区三番町28 秀和三番町ビル
TEL: 03-5215-8274 MAIL: forest@amita-net.co.jp

SGSジャパン 認証サービス事業部 森林認証プロジェクトチーム
〒220-8138 横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー38階
TEL: 045-330-5020 MAIL: Yuka.Hamamura@sgs.com

詳しくは認証機関
に聞いてみよう

こんなにたくさん!! FSC認証製品



バインダー



ネームプレート



家屋の柱



ひのきカッティングボード（まな板）

森を守る、安心のFSCマーク



FSCのマークは、
森をまもる
安心のマークだよ。



あなたが使っている木製品や紙が、どんな森からきたか知っていますか？
その製品は、もしかしたら大切な森を壊して作られたものかもしれません。

FSCのマークは、その製品が「適切な管理が行われている森林」からきたものであることを、確実に保障する安心のマークなのです。そして、このマークが付いた製品を積極的に利用することは、健全な森林の育成を支援することにつながります。



吉田本家山林部 代表
よしだ まさき
吉田 正木 さん

大宮町を中心とした1,256ヘクタールの森林を経営。その約8割が、ヒノキ・スギを中心とした人工林である。2003年3月、経営するすべての森林でFSC森林認証（FM認証）を取得した。



私は、森林経営者として、木材の生産に関しても「生産者の説明責任」があるのではないかと考えています。皆さまご存知のように、食品については、生産者の説明責任が社会的な問題にまで発展しました。木材についても、森林を破壊しながら生産されたものが、国内で流通しているといわれています。

世界的な基準で、森林経営が適切に行われているかどうかを評価し、適切であると認証された森林で生産された木材は、トレーサビリティ[※]が確立したシステムによって消費者へと届けられます。これがFSC森林認証制度であり、そのシステムは、生産者と消費者を、顔が見える信頼関係で結びます。

生産者の顔が見える木材を、責任を持って供給していくためにも、FSCの制度を活用し、消費者との信頼関係をより強いものにしていきたいと考えています。

※ トレーサビリティ：追跡可能性



株式会社 西組 代表取締役
にし きとし
西 覚嗣 さん

2003年4月に、COC認証を取得。大台町にある営業所では、大きなFSCのPR看板を掲げ、積極的にFSC認証材による木造建築を推進している。



地球環境を考えると、大きな要素は水と空気です。その源である森林を健全な状態にすることが、今世紀最大のテーマではないでしょうか。そして国内の中山間地、そしてそこで営まれている林業にも、ますます環境的な理念が必要になってきていると思います。

FSCは、環境のみならず、社会、経済の面においても適切に森林を管理し、そこからの木材を使用していこうという取り組みです。これは、世界的でありながらも、地域的な取り組みであるともいえるでしょう。

弊社では、このような取り組みの火種を絶やすことなく、こだわりを持って進めていきたいと思っています。特に、次の世代を担う子供たちに、その理念をしっかり伝えていくことが大切です。今後、環境教育の取り組みも行なっていきたいと考えています。

こんなにたくさん!! FSC 認証製品



テーブル



ひのきペーパーウェイト



テーブルセット



フォトフレーム